

第10章 学習者コーパスを 使った事例研究

7413104

言語文化学部 マレーシア語科3年

山崎 加奈

目次

1. 学習者コーパスの概要
2. 海外での事例研究
 - 2.1 強意の副詞と形容詞のコロケーション
 - 2.2 話し言葉におけるチャンク
 - 2.3 書き言葉における助動詞の使用傾向の比較
3. 国内での事例研究
 - 3.1 学習者によるbecauseの使用傾向
 - 3.2 n-gramを用いたチャンクの抽出
 - 3.3 学習者と母語話者の作文を区別する要因
4. 学習者コーパスを用いた調査の課題と留意点
5. おわりに

1. 学習者コーパスの概要

- 学習者が使用したことばの特徴や傾向を観察できる

学習者コーパス分析の種類

- 1つの学習者コーパスだけを分析
 - 学習者の傾向を観察
- 2つ以上のコーパス(英語母語話者コーパスと学習者コーパス)を比較
 - 学習者の特徴がより明確に

2. 海外での事例研究

2.1 強意の副詞と形容詞のコロケーション

①研究概要

- Granger(1998)
- ICLEの中のフランス人英語学習者コーパスと英語母語話者コーパスを比較

* ICLE(The International Corpus of Learner English)

…日本を含めた16か国の学習者が書いた作文データ

2. 海外での事例研究

2.1 強意の副詞と形容詞のコロケーション

②分析結果

- 強意の副詞は、学習者の使用頻度が低い
- 単語によって、学習者の使用頻度が異なる

③指導への応用

- 各形容詞には相性のいい副詞が存在することを意識させる
- Oxford Collocations Dictionary (コロケーション辞典) やCOCAの利用
→ALTに頼らなくても生徒の英作文を添削可能

2. 海外での事例研究

2.2 話し言葉におけるチャンク

①研究概要

- De Cock et al.(1998)
- フランス語を母語とする上級レベル英語学習者の話し言葉コーパスと、英語母語話者の話し言葉コーパスを比較

②分析結果

- 母語話者も学習者も、チャンクの使用頻度は同じ
- 上級レベルの学習者でも、使用するチャンクが母語話者と異なる
- 学習者はつなぎ言葉をあまり使えない

③指導への応用

- IMBD(映画情報データベース)の活用

2. 海外での事例研究

2.3 書き言葉における助動詞の使用傾向の比較

①研究概要

- Aijmer (2002)
- 英語母語話者コーパスと、スウェーデン語、フランス語、ドイツ語を母語とする英語学習者コーパスを比較

②分析結果

- 学習者は助動詞を過剰使用している

③指導への応用

- 話し言葉と書き言葉を区別させる
- コロケーションという大きな単位で学ばせる

3. 国内での事例研究

3.1 学習者によるbecauseの使用傾向

①研究概要

- 小林(2009)
- JEFLE Corpusと、ICLE-JP(日本人大学生のデータ)

②分析結果

- 学年が低いほど、becauseを過剰使用
- 文頭で多く使用し、そのほとんどが断片文
- →母語の影響、文体の混在、教材の影響

③指導への応用

- 接続詞の使用について、基本的な用法をより慎重に指導する

3. 国内での事例研究

3.2 n-gramを用いたチャンクの抽出

①研究概要

- 阪上・小泉(2008)
- 学習者コーパスNICEと、英語母語話者コーパスANC, BNCを比較

②分析結果

- 学習者は、一人称を主語として話を始める傾向にある
- 前置詞句や数を示すチャンクを十分に産出できない

③指導への応用

- 無生物主語構文の使用を促す
- 前置詞句や数を示すチャンクに特化したタスクを行う
- n-gram表現のリストの活用

3. 国内での事例研究

3.3 学習者と母語話者の作文を区別する要因

①研究概要

- Sugiura et al. (2007)
- NICE (Nagoya Interlanguage Corpus of English)

②分析結果

- 「異なり語数」が大きく影響

③指導への応用

- 類語辞典の活用
- 単語の種類豊富さを、作文課題の評価基準のひとつにする

4. 学習者コーパスを用いた調査の課題と留意点

4.1 データの規模

- 学習者コーパスの規模を大きくすることは困難
- 英作文データを電子化、学生へフィードバック

4.2 意味や誤り分析の難しさ

- 機械的に処理するため、意味解釈がおろそかになってしまう
- 教師自身が注意してデータ観察をすることが必要

4.3 データ処理のための知識と技量

- 言語に関する知識だけでなく、技術的な知識と技術が必要

5 おわりに

- 母語話者だけでなく、学習者もコロケーションを使用している
- 客観的数値データを得られるため、コーパスは有用